

市議会だより

平成28年第2回定例会



18歳選挙権スタート

参院選、県知事選の期日前投票
(6月30日 鹿児島純心女子大学)

- 一般会計15億400万円を補正..... 2
熊本地震の被災地等支援関連予算、特定離島ふるさとおこし推進事業など追加
ー入来工業団地利活用促進条例など可決ー
- 総括質疑並びに一般質問..... 4
- 私たちが慎重にチェック（委員会報告）..... 10

発行／薩摩川内市議会
編集／議会だより編集委員会

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号
TEL 0996-23-5111 FAX 0996-23-5015

一般会計15億400万円を補正

～熊本地震の被災地等支援関連予算、特定離島ふるさとおこし推進事業など追加～

入来工業団地利活用促進条例など可決

平成28年度第2回定例会は、6月15日から7月8日までの24日間の会期で開催。今定例会では、熊本地震の被災地等支援関連予算の第1回補正予算や市税条例等の一部改正など3件の専決処分を承認したほか、特定離島ふるさとおこし推進事業等を主な内容とする第2回補正予算、入来工業団地の利活用を図るための条例の制定など、議案18件を原案可決。また、請願・陳情のうち2件を採択し、2件を不採択としました。

補正予算

平成28年度一般会計補正予算は、第1回及び第2回の2補正で15億400万5千円を追加し、533億4千400万5千円となりました。

第1回補正

本年4月に発生した熊本地震の被災地及び被災者の支援に係る経費として専決処分した8千690万8千円を承認しました。

第2回補正

特定離島ふるさとおこし推進事業、国・県補助事業における補



熊本地震被災地での本市消防局の活動(南阿蘇村)

助内示及び制度改正等に伴う増減調整が主なもので、一般会計と4特別会計において14億7353万2千円を追加しました。

主な事業の概要

◆産地パワーアップ事業

4億8千706万円

農業の最先端技術を導入したレタス栽培システム等の活用による雇用の増加を目指す農地所有適格法人を支援するもの。
(入来工業団地内に完全閉鎖型(人工光型)植物工場を設置)

◆児童福祉施設整備事業

1億9千917万9千円

待機児童の解消等のため、施設整備に対する経費に補助するもの。(小規模保育事業所及び保育所を各1カ所整備)

◆特別奨学資金拡充事業

1億7千236万2千円

向学心が強く、学業等が優秀であるにもかかわらず、経済的理由により高校への修学が困難である者に対して、進学環境の充実を図るため、貸付型の奨学資金から給付型の特別奨学資金へ拡充するもの。

給付対象枠 23人↓30人
支給月額 1万円↓1.5万円

◆里地区排水対策整備事業(特定離島ふるさとおこし推進事業)

4千500万円

水害対策強化のため、排水流

路を分散するための側溝及び水路を整備するもの。

◆甕島地域観光バス導入事業(特定離島ふるさとおこし推進事業)

3千230万円

観光貸切バスの需要が高まっている甕島地域において、観光客及び市民の利便性向上を図るため、路線バスと併用できる観光バス2台を購入するもの。
(上甕島に小型バス1台、下甕島に中型バス1台)

◆コンベンション施設整備事業

2千20万5千円

川内駅東口市有地において、コンベンション施設を核とするにぎわい創出のための施設について、民間資金等を活用した整備手法(PFI)を導入するため、必要財務、法務等の専門知識、民間事業者の公募、選定、契約に係る一連の業務の支援を委託するもの。

◆夜萩円山公園整備事業(特定離島ふるさとおこし推進事業)

2千806万8千円

また、平成29年度債務負担行為として、PFI事業支援業務1千300万円が併せて設定されました。

◆鹿島断崖を一望できる西海岸

鹿島断崖を一望できる西海岸

に位置する夜萩円山公園の防護柵及び階段を整備し、増加する観光客の安全性の確保と利便性向上を図るもの。



鹿島断崖を一望できる夜萩円山公園(鹿島町)

一般会計補正予算(第2回)には反対討論がありました。賛成討論はなく、原案のとおり可決しました。

反対討論

井上 勝博 議員
川内駅東口市有地の利活用のために、拙速な判断でPFI手法による開発を民間事業者に委ねることに疑問がある。



条例

優遇制度を創設し、入来工業団地の利活用促進

「薩摩川内市入来工業団地利活用促進条例の制定について」は、原案のとおり可決しました。

入来工業団地に工場生産施設等の設置を促進するため、必要な各種優遇制度(①売却②賃借後、無償譲渡③税制優遇)を創設するものです。

樋脇グラウンド・ゴルフ場

設置条例を制定

「薩摩川内市樋脇グラウンド・ゴルフ場条例の制定について」は、原案のとおり可決しました。

樋脇グラウンド・ゴルフ場の設置(平成29年4月オープン予定)に伴い、条例を制定するものです。

川内駅東口市有地利活用

事業審査委員会を設置

「薩摩川内市の附属機関に関

する条例の一部を改正する条例の制定について」は、反対討論がありました。賛成討論はなく、原案のとおり可決しました。

川内駅東口市有地利活用事業に係る民間事業者の選定、その他事業の実施に必要な事項を審査するため、川内駅東口市有地利活用事業審査委員会を設置するものです。

反対討論

井上 勝博 議員
川内駅東口市有地利活用事業で用いられるPFI手法の特徴について、十分な議論がなされているとは言えず、拙速に条例を制定することに反対する。

市長・副市長の

給料を2カ月減額

「薩摩川内市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、原案のとおり可決しました。

職員の不祥事に伴い、市長及び副市長の給料月額を本年7月1日からの2カ月間、減額(市長10%、副市長5%)するものです。

請願・陳情

受動喫煙防止の対策強化を求める請願—不採択

「受動喫煙防止の対策強化を求める請願書」については、賛成討論がありました。反対討論はなく、起立採決の結果、不採択となりました。

賛成討論

井上 勝博 議員
もはや世界の大勢となつている禁煙店への登録を求めるもので、請願には正当性がある。

教職員定数改善等を求める陳情—不採択

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2017年度政府予算に係る意見書の提出を求める陳情」については、賛成討論がありました。反対討論はなく、起立採決の結果、不採択となりました。

賛成討論

井上 勝博 議員
現場の教師にとって単式学級より負担のかかる複式学級の基準を改めようとする要求は、理解できる。

意見交換会の公募は終了しました

昨年5月から1年間、市内の団体、市民グループを対象に募集をしてきた「議員との意見交換会」の公募は終了しました。

今回は、応募のありました4団体と意見交換を行い、多くのご意見をお聴きすることができました。

いただいたご意見は積極的に議会活動に生かされておりますので、今後も議会運営にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、意見交換会の概要等は、とりまとめ次第ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。

総括質疑並びに一般質問

議員 15人

6月24日、27日、28日の3日間、総括質疑並びに一般質問を行い、15人の議員が当局に市政全般にわたる質問を行いました。その主なものを紹介します。

敬員 和議

瀬尾



自主防災組織について

問 自主防災組織は、災害発生時に、自助・共助による避難や救助などに大きな役割を担う。①自治会での結成状況は。②活動の実態はどうか。③モデル地域を紹介して、自主防災組織の活動をグレードアップできないか。

答 ①本年5月25日現在、全572自治会のうち525自治会において、451の自主防災組織が結成されている。②自主防災組織結成後の避難訓練など具体的な取組において、温度差があると捉えている。③自主防災組織が当番制で避難訓練に取り組

んでいる地区コミ協等の先進例を紹介するなどして、活動性の低い組織の活性化、充実化に取り組んでいきたい。



斧淵地区自主防災訓練 (東郷体育館 6月5日)

「しつけ」と「懲戒権」について

問 北海道の児童山中置き去り事件は、しつけと懲戒権について物議を醸している。①本市では、家庭におけるしつけについ

て、どのように啓発しているか。②懲戒権について、どのような認識で学校教育に当たっているのか。

答 ①本市では全ての学校において家庭教育学級を開設していることから、その中でしつけや子育てのあり方についても、今回の事件を参考にしながら具体例を交え、親自身の学ぶ機会の充実に努めていきたい。②学校教育法で許容される懲戒に授業中の起立などがあるが、長時間にわたり身体的・肉体的に苦痛を与えるものは体罰とされる。子どもたちが安心して健やかに成長するために、親と子、教師と児童・生徒との信頼関係づくりを大切にして、体罰などによる肯定的なしつけによる子育てや、教育の在り方について、啓発していく必要があると考えている。

福田 俊一郎 議員



(仮称)宮崎バイパス事業及びび連課題について

問 ①平佐川に架かる橋梁の設計の進捗状況はどうなっているか。②新設道路の用地取得対象面積と取得面積を示せ。③同バイパスと県道川内郡山線との結節点の安全対策について協議されているようだが、進捗状況はどうなっているか。

答 ①橋台の形を決めるためのボーリング調査中であり、橋梁の最終設計は、本年度末までかかる予定である。②新設道路の用地取得対象面積は、1万699平方メートル、2655平方メートル(本年5月末現在)が取得されている。③現在、警察等の関係機関と信号機の設置などを含めて協議中である。

小・中学校におけるスマートフォン等の安全な利用について

問 ①鹿児島県が実施している学校ネットパトロールの平成27年度における本市に係る調査結

果を示せ。②小・中学校での児童・生徒へのスマートフォン等の安全な使い方の指導について、どのような取組をしているのか説明を求めます。

答 ①本市の小・中学校では、15件の問題ある書き込みがインターネット上で確認された。全て中学生による書き込みであったが、緊急性の低いレベルのものであった。②ネットトラブルに遭わないように個人情報を書き込まないことや専門機関に相談するといった対処法を身につけさせる必要があることから、学級活動等で映像や資料等を使って指導をしている。特に、県教育委員会作成の啓発DVDは非常にわかりやすく効果的であり、各学校で活用が始められている。

持原 秀 議員



※ 有人国境離島法の施行に伴い、島住民の意見の反映を

問 有人国境離島法の施行に伴い、国が国境に面している離島を守るということを示すことが

大事である。同法の目的、定義及び甌島の位置づけなどを踏まえ、甌島住民の声を聴くことを考えているか。

※有人国境離島法

有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法の略

答 有人国境離島法が、有効に機能するためには、甌島住民の意見を聴き、意見を反映させていくことが大事であることから甌島地域の地区コミ協に、同法の概要説明を行い、意見交換を既に行ったところである。また、甌はひとつ推進会議などでも意見を聴く機会を設けていきたい。

東日本大震災・熊本地震災害を教訓とした本市の取組について

問 本市には全国で唯一稼働している川内原発が存在しており、県民・市民は、東日本大震災以降大きな不安を抱いて生活している。今回の熊本地震を踏まえ、巨大地震に伴う原発事故など複合災害発生時の対応策について、今後の考え方を示せ。

答 熊本地震は参考になると考えるので、現地が落ち着いたら

被災地に市職員を派遣し、調査等を行い、検証した上で、地域防災計画や避難計画に生かせるものがあるれば、見直しをしておくことも一つの方法であると考ええる。

晃 議員
森 満



緊急消防援助隊の出動に伴う本市の常備消防の体制について

問 ①熊本地震における緊急消防援助隊の派遣中、常備消防の日常業務の中で消防・救急・職員の勤務体制に支障は来たさなかったか。②安定的な勤務を続けるには現在の職員数150人を、条例定数の160人まで増員すべきではないか。

答 ①熊本地震の発生に伴い、4月14〜26日まで、31人の職員を派遣した。通常の消防体制を維持しながら被災地への派遣を行わなければならないことから、各課・署からバランスよく消防職員を招集し、非番職員等も活用して派遣期間中の警防力確保に努めた。②消防局の条例定数は合併時に本市に必要な消

防力等を検討し、160人と定めている。本年4月に2名増員し、150人となったが、定数に近づけるように努力していきたい。

甌はひとつ推進会議から市長への提言の見解について

問 ①甌島地域における行政施設のうち、特に支所(振興局・サービスセンター)の位置をいつの時点で明確にし、島民の方々に理解を求めていくか。②医療体制について、この提言をどのように受け止め、医療福祉の充実を図るのか。

答 ①平成30年度の蘭牟田瀬戸架橋完成を見据え、平成29年度中には、方針を示して甌島住民や議会の理解を得たい。②医療の確保を最重要視しながら進めていくべきと考えており、地元医師の意見も聴きながら医師確保が難しい中で効率的なあり方を検討したい。提言は、これを前向きに捉えていただいたものと受け止めている

次 武 議員
徳 永



鳥獣被害対策について

問 ①本市での鳥獣被害は、年々深刻になっている。害獣を捕獲する猟友会の会員数の減少も要因の一つのようだ。現在の会員数と今後の見込みを示せ。②今後、ジビエ処理加工施設の開設は見込めないか。

※ジビエ
狩猟によって、食材として捕獲された野生鳥獣肉

答 ①本市の猟友会会員数は、平成27年度は305人で10年前に比べ57人減少しているが、ここ数年、わな猟を中心に会員数は増加傾向にある。今年度から本市においても狩猟免許取得者に対する講習会経費の一部助成を行い、狩猟免許取得の促進に努めることとしている。②現時点でジビエ加工処理施設の計画はないが、引き続き先進事例の視察や今後の動向など情報収集に努め、猟友会と一体となって研究していきたい。

シティセールス関連について

問 ①本市は、「おもてなし」に力を入れているが、アンケート結果での観光客の反応はどうであったか。②今後の展開として、大都市に本市独自のアンテナショップを開設できないか。

答 ①昨年度実施した本市への旅行ツアー参加者のアンケート結果は、8割が「楽しかった」との回答であった。一方で、食事場所・トイレ等に対する意見も伺っていることから、今後もきめ細やかな意見の収集を図り、関係者とともに改善に努めていきたい。②単独の固定店舗の開設は、経費的に厳しいと考えられる。より条件のよいブース出展を模索しながら知名度を高め、顧客確保に努めたい。



川内駅おもてなし事業
(れいめい高等学校 7月16日)

彦 議員
江口



原発から出る核のゴミの処分場
について

問 ①最終処分地の選定について、年内に有望地提示との方針をどう捉えるか。②原発立地自治体の長として、原発から出る核のゴミ問題をどう考えているか。③甌島が有望地と提示されたらどう対処するか。

答 ①国に責任を持って建設していただきたいということに変わりはないことから、国の動向を注視していきたい。②最終処分場は必要な施設であることから、国も研究を進め、原発立地以外のところで早期に解決・建設してほしい。③国策としてのエネルギー政策の利益は、国民全体で享受されるものであり、最終処分場も日本全体で応分の負担がなされるべきであると考えられる。本市には、原発が既に立地していることから、仮に甌島が有望視されても受け入れる考えはない。

有人国境離島法を甌島振興にどう活用するか

問 ①市長は、有人国境離島法を甌島振興に生かしたいとのこと。その思いを示せ。②こしき海洋深層水の取水管の敷設を市で行い、深層水を起爆剤に雇用促進につなげることができないか。

答 ①大変強い法律ができたと感じる。今後、県と調整しながら本市の望む事業が財政支援メニューに入るよう努力していきたい。②甌島における雇用機会の拡充等は、有人国境離島法の目的とする人口減少対策や若者雇用につながる重要な施策であると認識しているが、取水管敷設は多額の事業費を要する案件であることから、同法による交付金等を活用して、設備投資ができないか事業者と協議した上で、検討していきたい。

貴 議員
川添



経済活動と定住促進について

問 ①現在の企業誘致の現状と

雇用増進はどうなっているか。②新たな定住・就業支援策として、専門学校などへの進学者に対し、スキルアップ、就業支援、定住促進のために、現行の各種補助金の対象を拡大する考えはないか。

答 ①平成25年度から平成27年度までの3年間で、13社と立地協定を締結し、214人を新規雇用している。②若者の地元就職は、地方創生で重視している施策でもあることから、本年度発足させた奨学金返還支援制度において運用上の課題等を整理・研究していきたい。

教育行政について

問 ①第2土曜日を活用し、学力向上を図って欲しい。小・中学校での活用の現状は。②閉校予定学校の歴史・校歌等をDVDに保存し、安価で販売する考えはないか。

答 ①第2土曜日は、全市的に土曜授業と位置づけ、保護者や地域と協力して実施する避難訓練やスポーツ大会等の学校行事、ふるさと・コミュニケーション科や薩摩川内元気塾等の教育活動及び学力向上を目指した補

充・発展的な学習等を実施している。②これまで閉校した学校では、実行委員会において、閉校式等の映像をDVDにして地域住民に配布しているところも多いことから、今後も校歌等のDVD作成はそれぞれの地域で取り組んでほしい。なお、校歌のCDについては、教育委員会で作成・保管するようにしたい。



第2土曜日を活用した入来小学校のジュニアガイド学習(旧増田家住宅 4月9日)

由美子 議員
中島



ごみ袋の値上げから一年過ぎて元の状況に戻せないか

問 昨年6月、20枚入りのごみ袋が15枚入りになる値上げが実

施され、一年となる。ごみを減らすための高いごみ袋なのだろうが、原油も下がり安定してきている。元の20枚入りの状態に戻せないか。

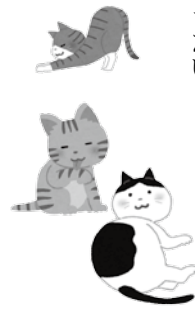
答 ごみ袋の原料である原油価格は、現在落ち着いているが、中東地域の政情不安等による急激な価格の変動や製造コスト、人件費等を勘案すると、簡単に値下げを行う状況ではない。また、ごみ袋保管倉庫の借上げ経費を伴うことや、鹿児島市を除く県内18市の可燃ごみ袋1枚当たりの販売価格を比較しても中位であることなどについても御理解いただきたい。

清水ヶ丘公園等の公園に住む猫との共生を

問 遠足や花見で賑わう公園が、飼い主不明猫のすみかになっており、本来の役目を失っている。動物愛護法の観点からも、避妊をさせたり、里親を見つけたりして、共生し、本来の役目を取り戻せないか。

答 避妊等の指導助言については、法律等により県や中核市の業務とされており、新たな飼い主を探す取組は、県の動物愛護

センターで行われている。本市では、猫の適正飼育のチラシを県と一緒に作成・配布しているが、飼い主のマナー向上のため、今後も、県と連携しながら、積極的な意識啓発に努めていきたい。



尚 由 議員
谷津



薩摩川内市総合戦略の途中経過と今後の展開について問う

問 ヘルスケアビジネスにおける今後の事業展開に関し、予想される課題とその解決策を踏まえ、行政が指揮を執るために必要なことは、民間活力を生かし、事業の形を作ることである。どこまで準備はできているのか。

答 大学、医療機関等による（仮称）ヘルスケア産業推進協議会を設立して、推進体制を構築したいと考えている。現時点においては、健康サービスの需給チェック、収益性や市場規模の

確認ができていないが、協議会をつくり、関係事業者の協力を得ながらモデル事業を進め、具体的な方向性が見えてきたら、積極的に対応していきたい。

第三次定員適正化方針、職員人材育成基本方針の是正を問う

問 事務分掌は、現場の状況を反映すべきである。定員適正化方針と人材育成基本方針との整合が図られていなければ、時間外業務の減や、職位ランクごとのスキルは生かされない。どのように事務分掌の検証を行っているのか。

答 それぞれの所属長が、特定の職員に負荷がかからないように事務の平準化に努め、職責・適性に応じて事務分掌を割り振りしている。各課・室で作成された事務分担表を、行政改革推進課や総務課でも確認し、また、毎年、現在の定員配置の状況、今後の事務量の増減等について、所属長のヒアリングを実施して、次年度以降の嘱託職員等を含めた課・室の職員構成を検討し、定員配置を行っている。

実 兼 議員
宮里



介護予防元気度アップ事業について

問 介護予防元気度アップ事業がポイント制に変わったが、前の方が良かったとの声を聞く。介護予防の意識向上や関心を高めるため、今後、この事業を促進させるような活動を示せ。

答 2年が経過し、ポイントの転換利用券を使える事業所も54カ所から127カ所まで増えた。また、参加しやすい態勢づくりが重要であると考え、一番身近な自治会活動もポイントの対象にした。本年度からは、65歳以上の方が半数以上を占め、5名以上で介護予防・健康づくりを目的に活動している団体も広く募集しており、元気な高齢者になっていただくための介護予防を進めていきたい。

人口減少対策のために甑島に高校を設立できないか

問 地方創生は甑島からと思

う。甑島に、高校が今までなかったのが不思議なくらいだ。高校を選択する子どもには、自らの意思で決めていく環境と権利があるべきである。寮制の分校でも設立できないか。

答 本土地域も生徒不足で学校経営が難しいため、甑島への高校の誘致も厳しい状況である。なお、特色ある専門学校の誘致については、実現には至っていないが、模索してきた経緯もあることから、改めて努力していきたい。

達 裕 議員
帯田



独自の財源で進める待機児童対策について

問 待機児童解消に向けた取組を、国の助成の枠内で進めようとしているが、単なる待機児童対策と考えるのではなく、まちづくりのベクトルを合わせた考え方を持つべきである。市の独自財源で進めても十分その価値はあるのではないか。

答 合併後十年が経過し、地方

交付税が減額されていく中、一般財源で待機児童対策を進めることは難しい。国の待機児童加速化プランによる有利な補助事業を活用しながら、限られた財源の有効利用を図ることが重要であると考える。

保育士の確保と処遇改善について

問 待機児童解消策には、新設保育園や既存の保育園の定数増など量的確保の議論と同時に保育士の確保が重要である。それに伴う保育士の処遇改善も不可欠であるが、今後、どのように取組んでいくのか。

答 本市では、入所選考時に保育士加算を設け、保育士が現場復帰できやすい体制をとっている。処遇改善については、国の施策が第一義的であり、現時点で市独自の取組を行うことは難しいと考える。





食育全般について

問 全国初となる「(仮称)野菜を1日350g[㊦]食べて元気なまち」宣言について、実施内容等を示せ。②鳥獣被害の解決策として、イノシシの肉を郷土料理としておいしく食するための体制づくりを求める。

答 ①本年9月3日に「さつませんだい350ベジライフフェスタ」を開催し、野菜1日350gの摂取の推進を宣言するとともに、講演会等で野菜の摂取について幅広く普及推進する予定である。②野生鳥獣肉は、解体などの取扱いに伴う動物由来感染症や食中毒の発生など、衛生上のリスクがあることから、捕獲された解体処理、加工・調理、販売、消費までの各段階における衛生管理の考え方が示された国の指針や県のガイドライン、食品衛生法等を踏まえ、調理や販売などの取扱いを検討する必要がある。

大綱心で交通安全運動を積極的に推進するための取組について

問 自転車・単車・電動カー等の正しい乗り方、車を運転する際のシートベルト着用・携帯電話使用禁止・前向き駐車などの交通安全に関する啓発を、市の広報紙に、毎回「交通安全大綱心」として掲載することができないか。

答 本市の交通安全対策の取組としては、広報紙による広報のほか、交通安全教室、高齢者いきいきサークル等を実施している。今後も関係団体との協議・検討を重ね、機会あることに啓発を行い、幼少期からの交通安全教室等を通しての将来のよき交通社会人を育てるなど地道な取組を継続していきたい。広報紙への掲載についても、対応を検討していきたい。



熊本地震を受けて

問 震度7が続けて2回起きた熊本地震では、これまで政府が

予測していなかった事態が起きている。①川内原発の近くで基準地震動を上回る地震の可能性はないのか。②避難施設の耐震性の見直しをすべきではないか。

答 ①新しい規制基準の適合性審査において、あらゆる可能性について、科学的、技術的知見に基づき十分議論されているので、基準地震動を上回る地震の可能性は低いと考える。②指定避難所となっている本市の中学校38校については、国の基準に基づく耐震化を終わっていることから、耐震上の問題はないと考えている。その他天井脱落対策の必要な施設については、詳細な調査の上、対応していきたい。

コンベンション施設について

問 ①コンベンション施設建設計画に対し、疑問に感じるといった市民の声があるが、市の見解は。②PFI方式の問題点と課題をどう考えているのか。

※PFI

プライベートファイナンスインシアチブの略語であり、公共施設等の建設維持管理などを民間の資金や経営能力を活用して行う民営化の手法

答 ①コンベンションホールの建設財源となる共生交付金は、本来、県に交付されるものであるが、今回、25億円全額が本市に交付されることとなったのは、薩摩川内市が将来の展望を描けるような施設を計画するのであればどの県の判断からであり、その他のものにも使いたいというって使えるものではないことをご理解いただきたい。本市にとつて今一番必要なものは何かということ判断し、県の了解を得て、作業を進めているものであり、次世代に残る施設にしたいと考えている。②PFIに関して、留意すべき事項をまとめた国の指針等が示されていることから、事業実施にあつては、これらを基本に、適正な執行に努めたい。

成川 幸太郎 議員



薩摩川内市コンベンション施設建設基本構想について

問 ①市民からの意見募集の前に、各種団体に対し説明・意見を求められたとのことであるが、どのような団体が対象で、

どのような意見があったのか。②市民からの意見を、今後どのように活用していくのか。

答 ①平佐西地区コミ協、市ホテル旅館組合、市比野郡答院入来ホテル旅館組合、飲食業生活衛生同業組合の4団体と意見交換をし、「民業圧迫や既存事業者への影響が心配である」「来訪者が回遊して地域が潤っていくことに期待したい」など、両方の側面から意見をいただいた。②今後、事業実施に当たつての方針等を作成し、年度内に事業者公募を行う予定であることから、市民からいただいた意見は、これらの手続を検討する際の参考としたい。

自殺対策基本法の改正・施行について

問 ①今回の改正により定められた「自殺予防週間及び自殺対策強化月間」では、どのような事業に取り組むのか。②地方自治体における自殺対策計画策定が義務化されているが、本市における取組はどのようになっているか。

答 ①自殺予防週間には、広報紙への掲載や川内駅等でのちら

シ配布、自殺対策強化月間には、市役所前の歩道橋への横断幕設置等により意識啓発を行っている。②今後見直される国の自殺総合対策要綱を踏まえ、県、市は計画を作成する規定となつていくことから、本市では健康づくり推進協議会の部会等において現状を把握し、自殺予防への課題・対策等を検討していきたい。

喜 議員
政 議
下 園



廃棄物の適正処理等について

問 ①自治会未加入者が多いとされる共同住宅の所有者に対して、ごみステーションの設置を条例で義務化することはできないか。②燃えるごみとして処理されるペットのために、ペット専用の火葬施設は設置できないか。

答 ①義務化については、共同住宅の所有者に負担を強いることになることから、ごみステーションがない共同住宅に居住している方についても自治会加入を促進し、自治会設置のごみス

テーションを利用するよう呼びかけたい。②飼い主・管理者の責任において対処することが基本であり、市内外に民間のペット専用の火葬業者もあることから、市でペット専用の火葬施設を設置することは難しい。

台風被害木の整備と今後の森林環境の整備について

問 ①昨年の台風15号で、多くの風倒木が発生したが、処理作業に対し、市として手立てはないか。②森林の皆伐が進み、山が荒れることがないよう森林環境の整備をどう進めていくのか。

答 ①間伐以外の被害木整理、跡地植栽などの作業についても、本市の林業就労改善推進事業による国県事業の上乗せ負担について支援していきたい。②森林の有する公益的機能の持続的発揮に向け、多様で健全な森林整備の促進を図るため、林業の担い手である林業事業体に対する社会保険料等の一部助成や、森林施業集約化等の取組、高性能林業機械の導入について、引き続き支援を行うとともに、伐採跡地の再造林などの森林整備についても、更に支援していきたい。

全会一致で決議を行いました。

交通安全に対する意識の定着を図り、「大綱心」をもって交通安全運動を積極的に推進するための決議を全会一致で行いました。

「大綱心」で交通安全の推進に関する決議

本市議会は、これまで市民の安全で安心な暮らしを守る立場から、「日本一交通事故の少ないまちづくり」を目指し、警察や関係機関・団体等と連携し、市民と一体となって、交通死亡事故撲滅に対する姿勢を明確に示してきた。

このたび、交通安全に対する意識の定着を図り、「大綱心」で交通事故を起こさせないための交通安全運動が展開されるに当たり、ここに「大綱心」で交通安全を積極的に推進することを決議する。

お～おはようから
お～おやすみまで
つ～常に交通安全を意識して
な～無くそう交通事故

以上、決議する。

平成28年6月15日

鹿児島県薩摩川内市議会

私たちが慎重に チェック!

委員会 報告

常任委員会

各常任委員会において、付託された議案等の審査を行い、次のような意見・要望がありました。
また、委員間の自由討議により審査を進めた請願・陳情の概要についても併せて掲載します。

総務文教委員会

委員長 持原 秀行

6月30日開催

意見・要望はありませんでした。

企画経済委員会

委員長 川添 公貴

4月13日開催

陳情第5号 薩摩川内市に国を中心とした総合研究所の設立に関する陳情書

本陳情は、委員間の自由討議により審査を行いました。自由討議では、前回(平成25年9月)不採択となった同趣旨の陳情以降の進展が読み取れないなどの意見が述べられました。

本陳情に対する討論はなく、採決の結果、起立者なしにより不採択とすべきものと決定しました。

7月1日開催

議案第106号 平成28年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

産地パワーアップ事業は、PPPに関連する予算として、レタスの生産施設を入来工業団地内に整備しようとするものであるが、レタスを本市の地場産品として根付かせるとともに、その波及効果が更なる農業振興につながるよう努められたい。

市民福祉委員会

委員長 永山 伸一

6月30日開催

(1)議案第106号 平成28年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

待機児童の解消を図るための保育所等整備交付金が計上されているが、保育需要は高まっていくことが予想される

ことから、今後、保育施設の新設や増設等を希望する法人の要望に応えることができるよう努められたい。

(2)請願第6号 受動喫煙防止の対策強化を求める請願書

本請願は、紹介議員に請願の趣旨について説明を求め、質疑を行った後、委員間の自由討議により審査を進めました。

自由討議では、受動喫煙対策は健康を保つためには意義があると思うが、飲食店は禁煙とすべき施設であると決めるべきではないなどの意見が述べられました。

本請願に対する討論はなく、採決の結果、起立少数により不採択とすべきものと決定しました。

特別委員会

特別委員会において、調査を行いました。概要は次のとおりです。

川内原子力発電所対策 調査特別委員会

委員長 森永 靖子

5月27日開催

川内原子力発電所の安全対策に

関する調査

平成28年熊本地震における川内原子力発電所の状況について当局から、4月14日、15日及び16日に発生した地震における川内原子力発電所の観測データについて説明を受けました。

建設水道委員会

委員長 宮里 兼実

7月1日開催

所管事務の調査結果

本年4月から水道料金の段階的な引き上げが始まったが、料金改定に伴う市民からの問い合わせ等があった場合は、お客さまセンターと水道局が連携し、適切に対処されたい。



この中で、熊本地方でマグニチュード7・3、震度7を観測した4月16日の地震の際には、川内原子力発電所の補助建屋最下階(岩盤上)に設置されている原子炉停止用地震感知器近接の広報用地震計で、震度3、最大加速度8・6ガルを観測したが、その時の揺れは、原子炉停止用地震感知器の設定値(最大加速度で水平方向160ガル、鉛直方向80ガル)を大きく下回っており、原子炉の自動停止には至らなかったとの説明がありました。

なお、今回の地震において、4月16日に薩摩地方(長島町)で震度5弱を観測したことから、川内原子力発電所においては、保安規定に基づき、制御棒や各冷却系ポンプ、ディーゼル発電機などの安全施設についての作動試験等を4月16日及び17日に実施し、異常がないことを確認しているとの説明がありました。

議会運営委員会

委員の変更

会派の解散に伴い、小田原勇次郎委員が辞任し、新たに成川幸太郎委員を選任しました。

行政視察の状況

具体的な調査結果は、6月議会で報告しており、その内容はホームページに掲載してあります。また、調査報告書は議会事務局で閲覧できます。

総務文教委員会

(1) 調査日

5月17日～19日

(2) 調査項目

- ① 防災対策について
- ② 閉校跡地を活用した取組について

【NPO法人里山ねっと・あやべ 京都府綾部市】

【兵庫県豊岡市】

③ 恐竜化石を活用した取組について

【兵庫県丹波市】



豊岡市

企画経済委員会

(1) 調査日

5月17日～19日

(2) 調査項目

- ① 鳥獣被害対策の取組について
- ② 商業振興の取組について

【滋賀県近江八幡市】

【金沢市】

③ 商業振興の取組について

【金沢市】



金沢市

市民福祉委員会

(1) 調査日

5月10日～12日

(2) 調査項目

- ① 倉敷市船穂町堆肥センターの取組について
- ② 宅幼老所あゆみのいえの取組について

【岡山県倉敷市】

【株式会社マイルハート 兵庫県尼崎市】

③ 認知症施策総合推進事業について

【京都府長岡京市】



倉敷市船穂町堆肥センター

建設水道委員会

(1) 調査日

5月18日～20日

(2) 調査項目

- ① コンパクトなまちづくりについて
- ② 上下水道事業包括的民間委託について

【富山市】

【石川県かほく市】

③ 上下水道事業包括的民間委託について

【石川県かほく市】



富山市

請 願 ・ 陳 情 の 処 理 状 況

請 願

請願番号	件名	提出者	紹介議員	付託先	結果
請願第6号	受動喫煙防止の対策強化を求める請願書	涉 秀憲	井上 勝博	市民福祉委員会	不採択 (賛成少数)
請願第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての請願書	薩摩川内市職員労働組合	成川 幸太郎	総務文教委員会	採択 (全会一致)

陳 情

陳情番号	件名	提出者	付託先	結果
陳情第8号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2017年度政府予算に係る意見書の提出を求める陳情	政元 章伸	総務文教委員会	不採択 (賛成少数)
陳情第9号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書の提出についての陳情	全日本年金者組合薩摩川内年金者の会	市民福祉委員会	採択 (全会一致)
陳情第10号	熊本地震で得られた知見により、川内原発の耐震性と基準地震動の検討を求める陳情	川内原発30キロ圏住民ネットワーク／薩摩川内	川内原子力発電所対策調査特別委員会	継続審査
陳情第11号	熊本地震を教訓とし、川内原発の定期検査の前倒しを求める陳情	川内原発30キロ圏住民ネットワーク／薩摩川内	川内原子力発電所対策調査特別委員会	継続審査
陳情第12号	熊本地震を教訓とし、避難計画の実効性に関する国、県、市による説明会を実施し、住民の質問や意見を聞くことと、熊本地震の教訓を避難計画の改善、見直しに反映することを求める陳情	川内原発30キロ圏住民ネットワーク／薩摩川内	川内原子力発電所対策調査特別委員会	継続審査

継続審査中

付託先	件名
川内原子力発電所対策調査特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> 鹿儿岛県知事に対し、九州電力に川内原発の免震重要棟の早期建設を求めるよう要請する意見書の提出を求める陳情(陳情第4号) 川内原発3号機増設計画の白紙撤回を求める陳情 2件

意 見 書

次の意見書を可決し、関係行政庁等に提出しました。

件名	提出先
地方財政の充実・強化を求める意見書	内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策)、内閣府特命担当大臣(地方創生)
若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

天辰寺前古墳 の謎

身長140cmくらいの小柄な女性が埋葬

まちの話題

編集委員会から市民の皆さまにお届けします。
(記事：井上 勝博 委員)

平成20年6月、市内天辰町で区画整理事業の工事中に古墳が発見されました。石室内からは多くの貝製腕輪を装着した成人女性の人骨一体をはじめ、銅鏡や刀子(とうす)などの遺物が出土し、1500年以上前の石室が未盗掘であったことが判明しました。発掘調査に携わった市教育委員会文化課の前(すすめ)幸男さんにお話を伺いました。

一 発見された当時の様子をお聞かせください。

「6月27日、工事関係者から連絡があり、工事現場に駆けつけたところ、50cm×100cmくらいの穴が開いていて、中をのぞくと内部は空洞になっていました。穴のそばには大きな石(天井石 てんじょういし)がありました。」



天辰寺前古墳の室開口部と天井石

一 古墳が出るとは思っていませんでしたか？

「この付近が神聖な場所とされているらしいことはあとから聞きましたが、古墳が出るとはまったく考えていませんでした。また、この場所は遺跡にもなっていませんでした。」

一 いつの時代の古墳ですか？

「5世紀前半代の古墳です。年代決定の決め手になったのは副葬品の銅鏡(神頭鏡 しんとうきょう)です。銅鏡は布に包まれた痕跡が残っていました。青い錆(さび)に覆われていましたが、レントゲン写真を撮って調べました。」

すると複合鋸歯文(ふくごうきょしもん)・櫛歯文(くしほもん)、細線状唐草文(さいせんじょうからくさもん)、交互に配した円文(えんもん)と半円方形文(はんえんほうけいもん)などのデザインが見えてきました。半円方形文は人の顔をかたどっていると考えられます。同じような鏡が東海から中部九州にかけての5世紀前半代の古墳から出土していたのがその理由です。」



銅鏡

発見された銅鏡(県指定文化財)

一 どのような人が埋葬されていたのですか？

「左腕に16個、右腕に2個、合計18個の貝製腕輪を身に着けた小柄な30～40歳くらいの女性でした。性別・年齢・身長は残された骨や歯の状態からわかりました。腕輪の直径が6cmということからも小柄であったことがわかります。」

一 どのような身分の人だったのでしょうか？

「シャーマン(呪術者)のような人で、この付近一帯の支配者であったと考えられます。昔は宗教と政治は一体のものであったとされています。古墳に銅鏡などの副葬品とともに埋葬されていることから、特別な身分であったことは間違いありません。」

一 当時の暮らしについて分かることがありますか？

「古墳時代の天辰町に集落があったことは間違いありません。町内からは8,000年前の縄文時代早期の遺物も出土しています。このあたりは川内川に沿って形成された台地上にあり、人が住むのには良い場所だったと思われます。」

一 市民の方々へ一言お願いします。

「天辰寺前古墳の調査や整備は地域の皆様の御協力なしにはできないことでした。本当にありがとうございます。今回史跡公園として整備されましたが、末永く皆様に御利用いただき、地域の宝として大切にしていただければ、と思っています。なお、古墳の石室はふだん見ることができませんが、年に2回程度一般に開放・公開しますのでぜひお越しください。」

議会の動き

- 6月
 - 6 意見交換会(川内建築四団体連絡協議会)
 - 15 本会議
 - 15 議員全員協議会
 - 24 本会議(一般質問)
 - 27 本会議(一般質問)
 - 28 本会議(一般質問)
 - 30 市民福祉委員会
 - 30 総務文教委員会
- 7月
 - 1 建設水道委員会
 - 4 企画経済委員会
 - 8 川内原子力発電所対策調査特別委員会
 - 8 本会議
 - 8 議員全員協議会
 - 13 議会だより編集委員会
 - 19 意見交換会(社会福祉協議会)
 - 26 議会運営委員会
 - 26 川内原子力発電所対策調査特別委員会
- 8月
 - 1 企画経済委員会
 - 4 市町村政研修会
 - 5 議会だより編集委員会
 - 8 議会運営委員会

第3回定例会予定

- 8月
 - 18 本会議
 - 18 議員全員協議会
 - 30 本会議(一般質問)
 - 30 本会議(一般質問)
 - 31 議会運営委員会
- 9月
 - 2 本会議(一般質問)
 - 5 建設水道委員会
 - 5 市民福祉委員会
 - 6 企画経済委員会
 - 8 総務文教委員会
 - 8 議会運営委員会
 - 13 本会議
 - 13 議員全員協議会
 - 16 総務文教委員会(決算審査)
 - 16 企画経済委員会(決算審査)
 - 20 総務文教委員会(決算審査)
 - 20 企画経済委員会(決算審査)
 - 21 市民福祉委員会(決算審査)
 - 23 建設水道委員会(決算審査)
 - 23 市民福祉委員会(決算審査)
 - 30 建設水道委員会(決算審査)
 - 30 議会運営委員会
 - 30 本会議
 - 30 議員全員協議会

※日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局にお問い合わせください。
【TEL 23-5111】

本会議や委員会を傍聴してみませんか

本会議

原則、どなたでも傍聴できます

傍聴席数

50席

手続き

市役所4階の傍聴席入口で、受付用紙に記入し、受付箱に入れてから、傍聴してください。

団体でも傍聴できます

・傍聴を希望される各種団体は、事前に議会事務局までお問い合わせください。
【TEL 23-5111】

委員会

委員長の許可を得て、傍聴することができます

傍聴席数

第1委員会室 12席
第2委員会室 16席
第3委員会室 30席

手続き

市役所3階の議会事務局で受付をしてください。
なお、委員会の開会時間30分前の時点で、傍聴希望者が定員数を超過している場合は、抽選により傍聴者を決定します。

◆ 議会のホームページで、本会議のライブ中継、録画中継を行っています ◆

編集後記

この任期中の市議会での質問や提言等を市議会だよりで再読した。山積する課題に対して厳しく追求する姿勢や様々な視点からの政策論議の緊張感が伝わってくる。議会や議員が真摯に取り組んできた四年間の成果を読み取っていただければ編集委員の冥利につきる。
(福田 俊一郎)

「気づいたらすぐする」ことが物事を成しとげる秘訣だそうですが、いっこうに気づかない私は、議会だよりで修行中の身であります。
(永山 伸一)

議会だより編集委員会

- (委員長) 谷津 由尚
- (副委員長) 井上 勝博
- (委員) 江口 是彦
- 福田 俊一郎
- 永山 伸一
- 中島 由美子

薩摩自民の会の所属議員の変更に伴い、川添公貴委員から福田俊一郎委員に議会だより編集委員が交替となりました。



市議会だよりは、国産竹を10%使った紙(中越パルプ工業株式会社川内工場で製造)を使用しています。